

BBIQ光電話ターミナル iA101SC3

取扱説明書



このたびは、「BBIQ 光電話ターミナル iA101SC3」をご利用いただきありがとうございます。
本書は、実際に本機を使っていただく方を対象に書かれており、本機を安全に使用していただく為の重要な情報が記載されています。
本機を使用する前に、本書をよくお読みになり、理解された上でお使い下さい。
また、本書は本機の使用時、いつでも参照できるように大切に保管して下さい。
当社は、利用者および周囲の方に人身損害や経済的損失を与えないために細心の注意を払っています。本書に従って本機を使用して下さい。

●ハイセイフティ用途について

本機は、一般事務用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客さまは、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施す事なく、本機を使用しないで下さい。

注意

本機は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用する事を目的としていますが、本機がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こす事があります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

注意

本機は、海外為替および外国貿易管理法が定める規制貨物に該当いたします。
本機は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取り下さい。

NOTICE

This product which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

- 本機は日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in JAPAN only and cannot be used in any other country.
- 本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外的要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済的損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- 本機を分解したり改造したりする事は、絶対に行わないで下さい。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、QNet お客さまセンターへお申しつけ下さい。
- 製品の改良のため、仕様やデザインの一部を予告なく変更する事がありますのでご了承下さい。
- 本書の内容を当社の書面による許可無く複写または複製する事は、一切禁じられています。

～ 目 次 ～

●添付品一覧表	4
●本書について	4
●警告表示について	4
●安全上の注意事項	5
第1章 概要	10
1.1 特長	10
1.2 各部の名称とはたらき	11
1.2.1 前面	11
1.2.2 背面	12
1.2.3 側面	12
1.2.4 設置	13
第2章 iA101SC3 の接続と設定情報の自動取得について	14
2.1 機器の接続	14
2.2 BBIQ 光電話設定情報の自動取得	15
2.3 BBIQ 光電話の設定完了	15
2.4 BBIQ 光電話利用中の設定情報の更新	16
2.5 ソフトウェアのバージョンアップ	16
2.6 工場出荷時設定に戻すには	16
第3章 電話の使用	17
3.1 電話機能	17
3.1.1 電話をかける(発信)	17
3.1.2 電話がかかってきたとき(着信)	17
3.2 音の一覧	17
第4章 故障かなと思ったら	18
第5章 仕様	21
第6章 サービスや故障などのお問合せ窓口 (QNet お客様センター)	22

●添付品一覧表

本機には以下の添付品が添付されています。
添付品が全て入っているか確認して下さい。

品名	数量	備考
BBIQ 光電話ターミナル iA101SC3 本体	1台	品名：iA101SC3, 型名：FC820STC5
AC アダプタ	1個	AC100V/DC12V 変換
設置台	1個	
LAN ストレートケーブル	1本	RJ45, カテゴリー5 e (青)
電話機ケーブル	1本	RJ11 (黒)
壁掛け設置用ネジ	2本	長さ 約 16mm
BBIQ 光電話ターミナル iA101SC3 取扱説明書	1冊	本書

●本書について

本書には、本機を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。本機を使用する前に、本書を熟読して下さい。特に本書に記載されている「安全上の注意事項」をよく読み、理解された上で本機を使用して下さい。また、本書は大切に保管して下さい。

●警告表示について

本書では、お客さまの身体や財産に損害を与えないために、以下の警告表示をしています。
内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



「警告」とは、正しく使用しない場合、死亡する、また重傷を負う事があり得る事を示しています。



「注意」とは、正しく使用しない場合、軽傷または中程度の損害を負う事があり得る事を示しています。

留意

「留意」とは、正しく使用しない場合、製品や接続された機器が破壊されたり、データなどのソフトウェア資産やその財産が破壊されたりする危険性がある事を示しています。

重要

「重要」では、効率的な使い方など、使用者にとって価値のある情報を示しています。

●安全上の注意事項

本機については以下の注意事項をお守り下さい。尚、以下の注意事項を無視して誤った工事、取り扱いをすると、お客さまおよび周囲の方の身体や財産など、および環境破壊による第三者の身体や財産などに予期しない損害を生じるおそれがあります。



(1) 設置・工事

工事前の準備に対する制限・禁止

- 濡れた手で機器類に触らないで下さい。感電、故障の原因となります。

設置環境

- 電子機器が誤作動するなど影響を与える可能性がありますので、以下の電子機器の近くには置かないで下さい。

ご注意いただきたい電子機器の例：補聴器、その他医療電子機器、火災報知機、自動ドア、携帯電話、その他自動制御機器など。

設置上の制限

- 機器類は、ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定なところに設置しないで下さい。落ちたり、倒れたりして火災、感電、けが、故障の原因となります。
- 機器類の上に座ったり踏み台として立ったりしないで下さい。倒れたりして火災、感電、故障の原因となります。
- 本機は**横置きや2段積みによる設置はしないで下さい**。本機が熱くなり、火災、家具などの財産の損害、やけど、故障の原因となります。2台以上設置する場合は設置台にはめ込んだうえで、横に並べて設置して下さい。
- 添付の**専用ACアダプタは他のACアダプタなどと段積み設置はしないで下さい**。ACアダプタが熱くなり、火災、家具などの財産の損害、やけど、故障の原因となります。

移動時の禁止事項

- 機器類を移動させる場合はACアダプタをコンセントから抜き、接続コードなど外部の接続線を外した事を確認してから移動させて下さい。火災、感電、故障の原因となります。

分解・改造の禁止

- 機器類を分解・改造しないで下さい。中古品をオーバーホールなどによって再生使用するために分解・改造しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。

接続機器の注意

- 機器類に改造された機器を接続しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- 機器類の仕様で許されている構成部品以外の機器を接続しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- WAN、LANポートおよび電話ポートに給電機能付の機器を接続しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。

配線ケーブル類の制限

- ・機器類のACアダプタや配線ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- ・機器類のACアダプタや配線ケーブルを熱器具に近づけないで下さい。被覆が溶けて火災、感電、故障の原因となります。
- ・機器類のACアダプタや配線ケーブルの上に重いものや燃えやすいものを置かないで下さい。コードが傷つき火災、感電、故障の原因となります。
- ・機器類のACアダプタや配線ケーブルは折り曲げたりしないで下さい。コードが傷つき火災感電、故障の原因となります。
- ・機器類のACアダプタや配線ケーブルプラグを抜くときは、必ずプラグやACアダプタ本体を持って抜いて下さい。配線ケーブルを引っ張るとコードやケーブルが傷ついて火災、感電、故障の原因となる事があります。
- ・配線ケーブルに機器類を接続する場合は、該当機器の種類を間違えないようにして下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- ・WAN, LANポートにLAN機器以外は接続しないで下さい。ISDN, 電話回線などを接続すると火災、故障の原因となる事があります。
- ・濡れた手で機器類のACアダプタや配線ケーブルを抜いたり、触れたりしないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- ・機器類のACアダプタはコンセントに確実に差し込んで下さい。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電、故障の原因となります。
- ・延長コードの使用およびタコ足配線はしないで下さい。火災、感電、けが、故障の原因となります。

電源の制限

- ・濡れた手で機器類の電源をON/OFFしないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- ・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。

点検（保守者）の制限・禁止

- ・内部の点検・修理はしないで下さい。お客さまが行うと、火災、感電、故障の原因となります。
- ・万一、煙がでる、変なにおいがする、などの場合は直ちにACアダプタをコンセントから抜き、本機からLANケーブル、電話コード、ACアダプタを抜いて、煙がでなくなるのを確認して問合せ先へご連絡下さい。（【第6章 サービスや故障などのお問合せ窓口】を参照下さい。）



(1) 設置・工事

工事前の準備に 対する制限・禁止

- ・すべての装置および配線の工事が終了するまでACアダプタはコンセントに接続しないで、電源はOFF(切)の状態にしてください。守らないと火災、感電、けが、故障の原因となります。

工事に使用する 部材の制限・禁止

- ・機器類の工事をする場合、配線ケーブルやネジなどの部材は定められた規格、寸法、材質のものを使用して下さい。定められた部材を使用しないと火災、感電、けが、故障の原因となります。

設置環境の制限

- ・機器類は浴室などの湿度が高いところに設置しないで下さい(湿度5~85%の範囲の場所に設置して下さい)。火災、感電、故障の原因となります。
- ・機器類は調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところに設置しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- ・機器類はジュウタンやカーペットのような静電気の発生のしやすい物の上に設置しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- ・機器類はホコリの多いところに設置しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- ・機器類は極度に温度の高いところ、低いところ、温度変化の大きいところに設置しないで下さい(温度0~40℃範囲の場所に設置して下さい)。火災、感電、故障の原因となります。
- ・機器類は直射日光のあたる場所に置かないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- ・機器類は硫黄ガスや車の排気ガスなど、特殊ガスがあたる場所に置かないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- ・機器類は塩分や水分を多く含んだ風が直接あたる場所に置かないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。

設置上の制限

- ・機器類の上に物を置かないで下さい。落ちてきたり、倒れたりして火災、感電、けが、故障の原因となります。
- ・機器類の周辺に倒れやすいものを置かないで下さい。倒れて火災、感電、けが、故障の原因となります。
- ・機器類は壁掛け設置の場合を含めて、振動、衝撃の多いところに設置しないで下さい。火災、感電、けが、故障の原因となります。
- ・機器類は通路に設置しないで下さい。人がつまずいてけがをしたり、機器類の故障の原因となります。

配線ケーブル類 の制限

- ・機器類のACアダプタ、配線ケーブルなどのケーブル類を敷設する場合は人がつまずかないように配慮して下さい。けがをしたり、機器類の故障の原因となります。

移動時の禁止事項

- ・機器類を移動させる場合は外したACアダプタなどの接続線が他の室内設備および人にかからないように注意して下さい。けがをしたり、機器類の故障の原因となります。
- ・装置の移動はゆっくり行って下さい。けがをしたり、機器類の故障の原因となります。

(2) 使用前の準備**使用前の製品の点検**

- ・工事保守終了後は機器類の設置環境、設置条件をもう一度確認して誤りがない事を確認して下さい。守らないと思わぬ事故の原因となります。
- ・工事で使用した工具や配線ケーブルなどの工事材料の余りなどをその場に放置しないで下さい。人がつまずいたり、機器類の内部に入ったりして火災、感電、けが、故障の原因となります。

(3) 清掃**清掃について**

- ・機器類が汚れたら、柔らかい布で乾拭きして下さい。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤の使用を避けて下さい。機器類が溶解され火災、感電、故障の原因となります。
- ・機器類に水滴がついたら柔らかい布で拭き取って下さい。そのまま放置すると火災、感電、故障の原因となります。

(4) 保管時の処置**保管時の禁止事項**

- ・機器類を保管するときは、ACアダプタを電源コンセントから抜いて下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- ・機器類を保管する場合、人通りのない場所に保管して下さい。人がつまずいたりしてけが、故障の原因となります。
- ・機器類を保管する場所では、保管機材の周りにスペースを設けて下さい。このスペースがないと出し入れするときつまずいたり、倒れたりしてけが、故障の原因となります。

留意**(1) 設置・工事****配線ケーブル類の制限**

- ・ACアダプタおよび配線ケーブル敷設において、建物の耐火構造などの防火区画を貫通する場合、隙間をモルタルその他の不燃材料で埋めて下さい。火炎時の延焼の原因となります。

(2) 保管時の処置**保管環境の制限**

- ・機器類を保管するときは、設置時と同じ環境条件の場所(例：湿度の低い場所)で保管して下さい。守らないと故障の原因となります。

重要

(1) 設置・工事

設置環境の制限

誤動作、通話切れ、雑音の原因となりますので以下の事項をお守り下さい。

- ・ 機器類は強電界・強磁界に影響されるところに設置しないで下さい。
- ・ 機器類の近くでラジオ、テレビなどを使用しないで下さい。
- ・ 機器類は工業用ミシン、高周波ウェルダールなどの高周波を発生する物の近くに設置しないで下さい。
- ・ 機器類は他の電源設備(変電設備など)の付近に設置しないで下さい。
- ・ 機器類と複写機(あるいはレーザープリンタなど)を併設する場合は、密着設置する事は避け距離を離してご利用下さい。

配線ケーブル類の制限

誤動作、通話切れ、雑音の原因となりますので以下の事項をお守り下さい。

- ・ ケーブルを敷設する場合、他の装置用ケーブル(インターフォン、放送設備など)および電力線と同一配管に混在収容しないで下さい。
- ・ 電話回線を交換機の外線と並列接続はしないで下さい。
- ・ 本機の電源を入れるときには、LANケーブルが接続されている事を確認して下さい。LANケーブルと接続しないで電源を入れると、通信できない事があります。

(2) 保管時の処置

保管について

- ・ 機器類を長時間使用しないときは、必ず保管の処置をとって下さい。
- ・ 機器類を保管するときは、梱包されていた箱に入れて保管して下さい。梱包箱は捨てずに保管しておいて下さい。
- ・ 接続コード付の機器類を保管するときは、接続コードを外して接続コードと共に梱包されていた箱に保管して下さい。

第1章 概要

1.1 特長

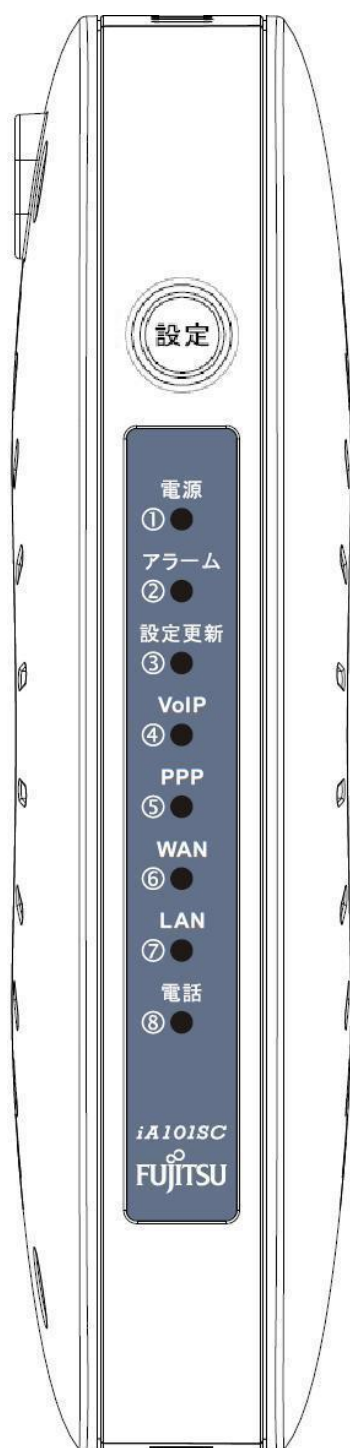
本機は、九州通信ネットワーク株式会社が提供する BBIQ 光電話ターミナルです。設定情報の取得を自動的に実行動作するように作られている製品ですので、ケーブルなどを接続するだけで BBIQ 光電話をご利用できるようになります。

また、パソコンを接続できるように 10/100Mbps 自動認識の LAN ポートを搭載しており、高速インターネットアクセス環境に対応しています。ご利用可能な電話サービスやインターネット接続サービスの詳細につきましては、QTNet お客様センターへお問合せ下さい。

- ・ VoIP 呼制御プロトコルに SIP (Session Initiation Protocol) を使用しています。
- ・ アナログ通信機器 (電話機やファクスなど) を接続できます。
- ・ BBIQ 光電話設定情報の自動取得等を行います。

1.2 各部の名称とはたらき

1.2.1 前面

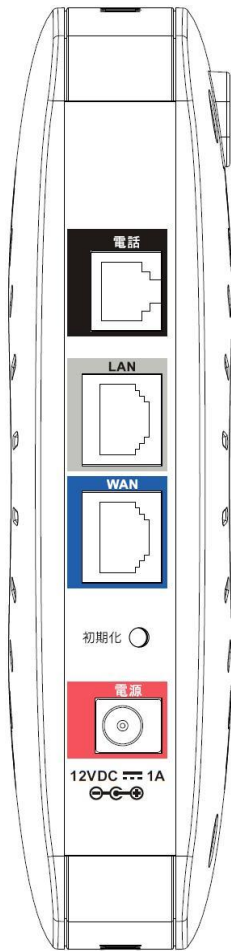


各部の名称	ランプのつき方	iA101SC3 の状態
設定ボタン		設定更新ランプが橙に点灯している場合に3秒以上押下する事で新しいソフトウェア、設定情報を利用可能となります。
電源ランプ	緑点灯	電源が ON されています。
	消灯	電源が ON されていません。
アラームランプ	赤点灯	本機が故障しています。
	赤点滅	ソフトウェア、設定情報を書込みしています。*1
	消灯	正常な状態です。
設定更新ランプ	緑点滅	BBIQ 光電話設定情報を取得中です。
	橙点灯	新しいソフトウェアの準備ができています。「設定」ボタンを3秒以上押す事で利用可能となります。
	橙点滅	ソフトウェア、設定情報を書込みしています。*1
	赤点滅	BBIQ 光電話設定情報取得のための通信においてエラーが発生しました。
VoIP ランプ	消灯	上記以外の状態です。
	緑点灯	BBIQ 光電話を使用可能です。
	緑点滅	BBIQ 光電話の設定を本機に登録中です。またはソフトウェア、設定情報を書込みしています。*1
	消灯	BBIQ 光電話を使用できません。
PPP ランプ	緑点灯	BBIQ 光電話用 PPP リンクが確立しています。
	緑点滅	BBIQ 光電話用 PPP リンクを接続しています。またはソフトウェア、設定情報を書込みしています。*1
	消灯	BBIQ 光電話用 PPP リンク未確立です。
WAN ランプ	緑点灯	BBIQ 回線終端装置とリンクが確立しています。
	緑点滅	通信中です。
	消灯	BBIQ 回線終端装置とリンク未確立です。またはポートに BBIQ 回線終端装置が接続されていません。
LAN ランプ	緑点灯	パソコンとリンクが確立しています。
	緑点滅	通信中です。
	消灯	パソコンとリンク未確立です。またはポートにパソコンが接続されていません。
電話ランプ	緑点灯	電話機の手話器を上げています。
	緑点滅	着信中です。
	消灯	電話機の手話器を置いています。

重要

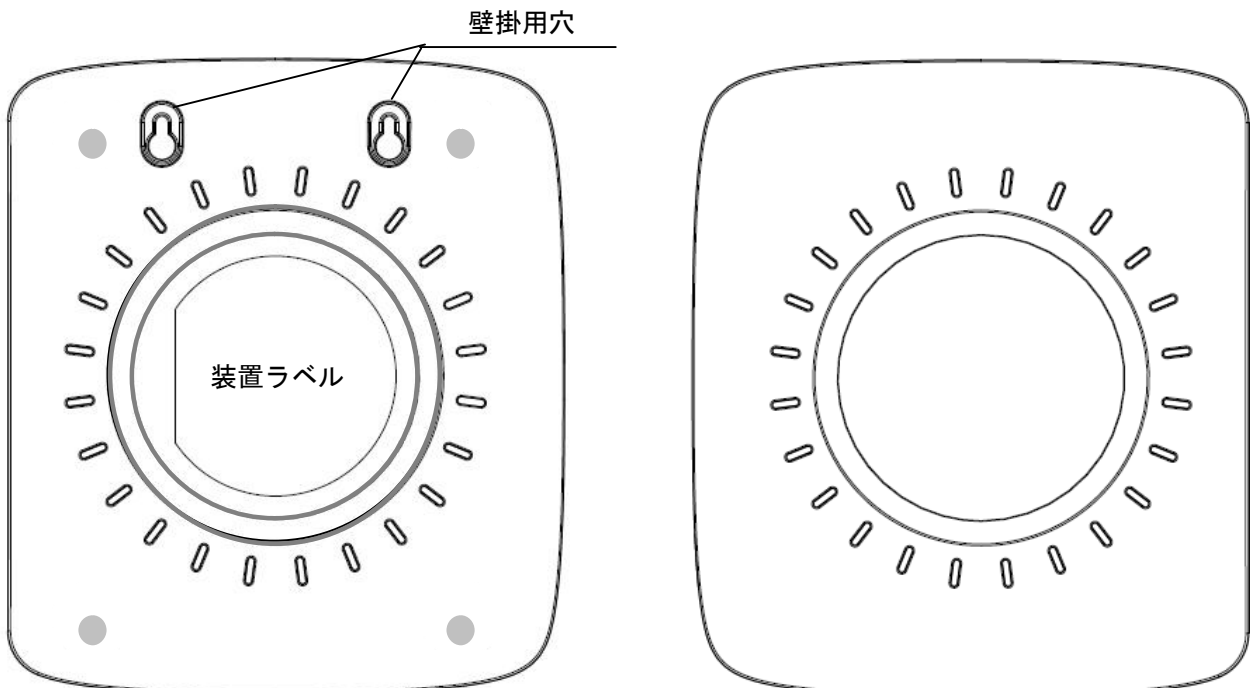
*1 これらのランプが同時に点滅している時は、本機設定データまたはソフトウェアを書き換えている状態ですので、絶対に電源を切らないで下さい。故障の原因となります。

1.2.2 背面

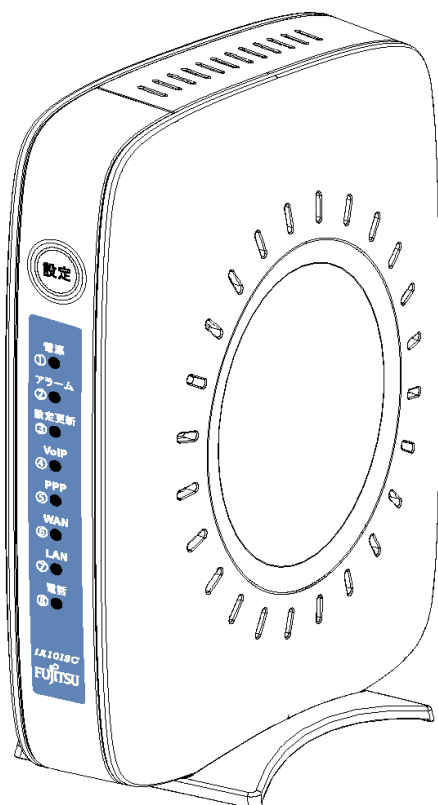


各部の名称	各部の説明
電話ポート	アナログ通信機器（電話機、ファクスなど）を接続します。
LANポート	パソコンやブロードバンドルータなどを接続します。10BASE-Tおよび100BASE-TXに対応しています。また、オートネゴシエーションにより100Mbps・10Mbps、全二重・半二重、フローコントロールの設定が自動でなされます。さらに、Auto MDI/MDI-Xに対応しています。本ポートは、ルータではなくブリッジとして動作します。
WANポート	BBIQ回線終端装置に接続します。
初期化スイッチ	本機の電源が入った状態で3秒以上押し続けると、本機を工場出荷時設定に戻すことができます。※WANポートが接続されていると、初期化後に本機が自動設定されることがありますので、完全に初期化したい場合、WANポートにはなにも接続しないで下さい。
電源コネクタ	添付品に含まれているACアダプタを接続します。ご使用するACアダプタが、本機専用のACアダプタである事を確認して下さい。

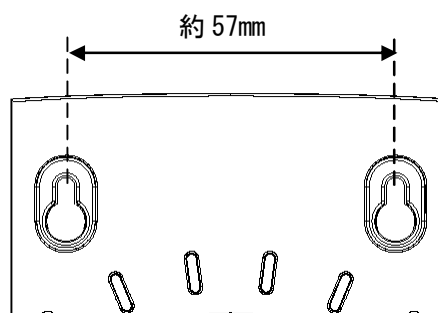
1.2.3 側面



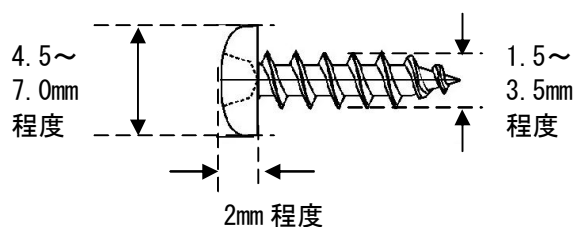
1.2.4 設置



・壁掛けについて(ご参考)



壁掛け設置用ネジ推奨サイズ



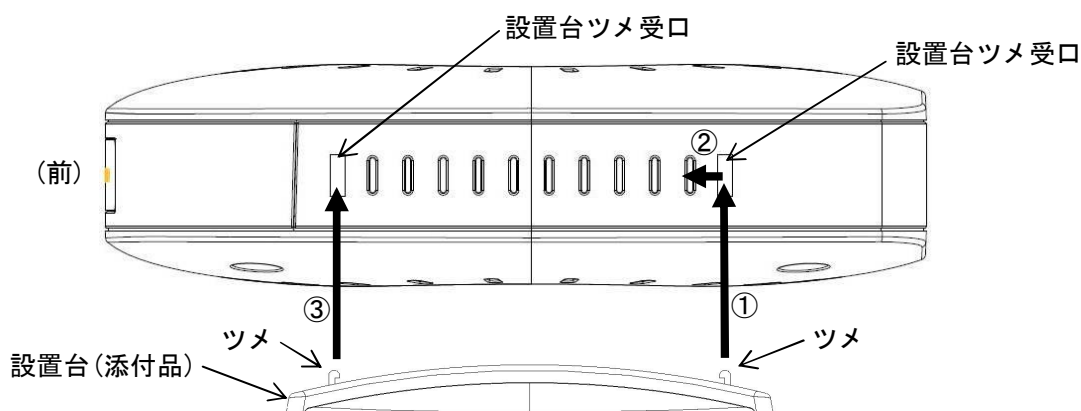
👉 重要

- 石膏ボードへ設置する場合は、添付の「壁掛け設置用ネジ」は使わないで下さい。ネジが抜け落下する危険があります。必ず石膏ボードに合ったネジをお使い下さい。

・設置台の取付けについて

設置台を取付けるには下図のように ①本機底面の設置台ツメ受口に設置台の片方のツメ(突起部)を挿し込んだ後、②カチッと音がするまで前方へ押し込みます。③次にもう一方のツメをツメ受口にカチッと音がするまで押し込みます。

取外すには、設置台を少ししらせながら前方のツメを外した後、取付手順の逆をたどります。



👉 重要

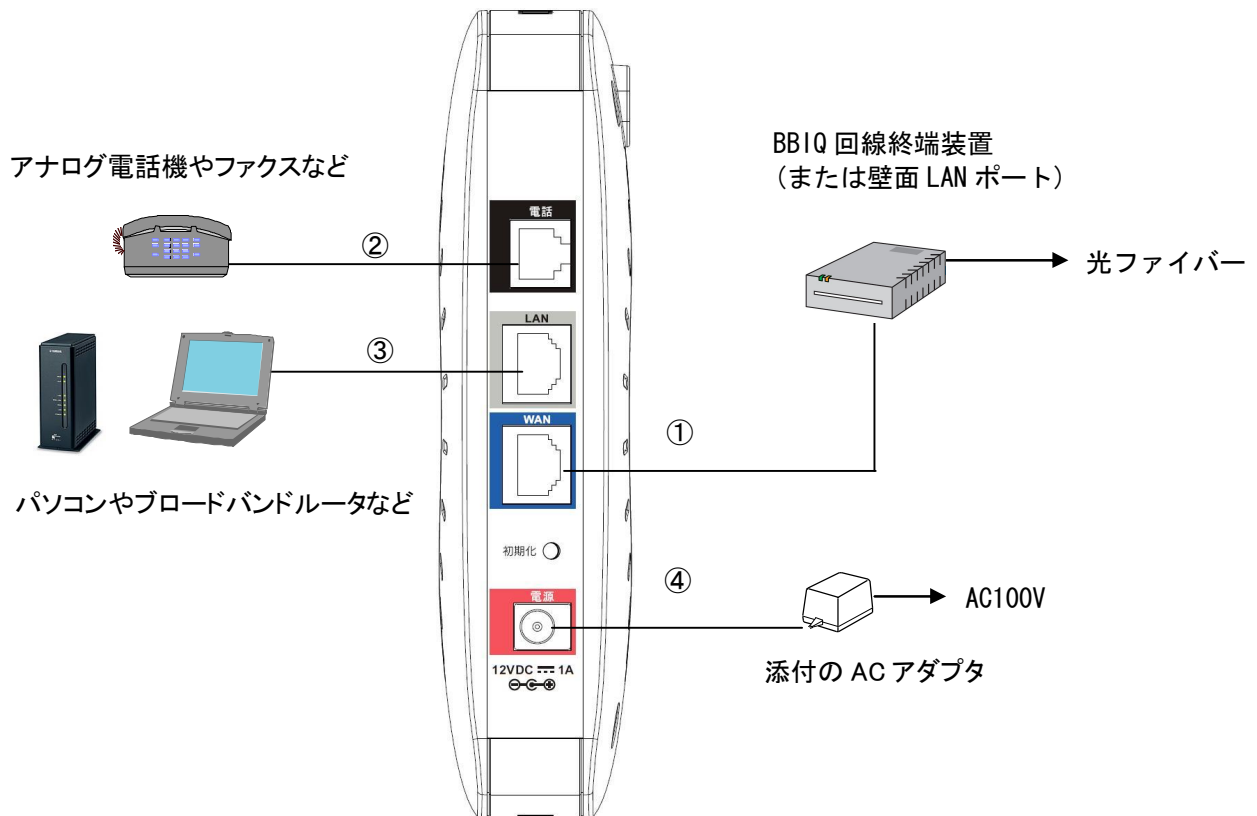
- 設置台を無理に取付けたり外したりすると設置台のツメが破損する事があります。

第2章 iA101SC3 の接続と設定情報の自動取得について

2.1 機器の接続

重要

- ・機器の接続は、BBIQ 光電話開通日当日に行ってください。開通日前に機器の接続を行った場合、BBIQ 光電話の開通作業に支障をきたすことがあります。



- ① 本機の WAN ポートと BBIQ 回線終端装置を添付の LAN ストレートケーブル (RJ-45) で接続します。
(添付のケーブルでは長さが不足する場合には、100m を上限にできる限り短い市販の LAN ケーブルをお使い下さい。)
- ② 本機の電話ポートとアナログ電話機またはファクスを添付の電話機ケーブル (RJ-11) で接続します。
(電話機のダイヤル種別を「プッシュ (PB)」, または「ダイヤルパルス (20PPS)」に設定して下さい。)
- ③ LAN ポートとパソコンを LAN ストレートケーブル (RJ-45) で接続します。
(パソコンを接続する場合の LAN ストレートケーブル (RJ-45) は、お客さままでご用意下さい。)
(WAN ポートと同様に 100m を上限にできる限り短い市販の LAN ケーブルをお使い下さい。)

複数台のパソコンでインターネットをご利用になる場合は別途ブロードバンドルータをご用意下さい。

- ④ 本機と添付の AC アダプタを接続します。

重要

- ・本機のアラームランプ、設定更新ランプ、VoIP ランプ、PPP ランプが同時に点滅している間は本機の電源を切らないで下さい。故障の原因となります。

各ポートへ接続する際の注意点

[WAN ポート]

本機と BBIQ 回線終端装置との接続は、下記に注意して接続して下さい。

- 接続に使用する LAN ストレートケーブルは、添付のものを使用して下さい。

[LAN ポート]

本機とパソコンなどとの接続は、下記に注意して接続して下さい。

- 接続に使用する LAN ストレートケーブルは、ツイストペアケーブル (UTP5 など) を使用して下さい。また、ケーブルの長さは、100m 以内として下さい。

重要

- ・ LAN ケーブルを屋外に張り出す事はできません。
- ・ LAN ケーブルは、まれに静電気を帯電している事があります。帯電したケーブルを本機に接続すると本機が破壊する場合がありますので、帯電したケーブルは水道管などのアース接地された部分に接触させて放電処置を実施してから接続して下さい。

注意

- 発火 ● WAN, LAN ポートに ISDN, 電話回線など LAN 機器以外の装置を接続しないで下さい。
火災・故障の原因となる事があります。
- 感電 ● 電話ポートや LAN, WAN ポートに指や金属類などを入れないで下さい。
感電の原因となる事があります。

[電話ポート]

本機と端末機器 (電話機など) との接続は、下記に注意して接続して下さい。

- 本機の電話ポートに接続できる電話機は 1 台のみです。
- 接続に使用するケーブルは、宅内電話配線用ケーブルとして下さい。

重要

- ・ 電話配線を屋外に張り出して使用しないで下さい。雷などによるサージ電圧により本機が破壊する可能性があります。

2.2 BBIQ 光電話設定情報の自動取得

上記のように各機器の接続を行い、それぞれ電源を投入して 1~2 分ほどすると、BBIQ 光電話に必要な情報を自動的に設定いたします。ただし、この時点で内蔵ソフトウェアより新しいソフトウェアが利用可能な場合には、本機の前面の「設定更新」ランプが橙点灯状態となりますので、前面の「設定」ボタンを 3 秒以上押して下さい。新しいソフトウェアにアップデートするとともに、BBIQ 光電話に必要な情報を自動的に設定いたします。

2.3 BBIQ 光電話の設定完了

設定情報の自動設定が正常に行われると、本機前面の「VoIP」ランプが点灯します。もし、5 分待っても「VoIP」ランプが点灯しない場合には、前面の「設定」ボタンを 3 秒以上押して下さい。本機はすぐに 2.2 項に記載の設定情報の取得を始めますので、さらに 5 分待っても「VoIP」ランプが点灯しない場合には、QNet お客さまセンターへお問合せ下さい。

2.4 BBIQ 光電話利用中の設定情報の更新

本機は、オプションサービスまたは新サービスが利用可能な状態になった後、「設定」ボタンを 3 秒以上押すだけで、設定情報の更新が自動的に行われます。

2.5 ソフトウェアのバージョンアップ

本機は、新サービスの追加などを目的として、内蔵のソフトウェアを更新する場合があります。本機の前面の「設定更新」ランプが橙点灯状態となりますので、前面の「設定」ボタンを 3 秒以上押しして下さい。新しいソフトウェアにアップデートいたします。

重要

- ・ソフトウェア更新時には、アラームランプ、設定更新ランプ、VoIP ランプ、PPP ランプが同時に点滅します。この間は本機の電源を切らないで下さい、故障の原因となります。

2.6 工場出荷時設定に戻すには

本機の電源が入った状態で背面の「初期化」スイッチを 3 秒以上押し続けると、本機を工場出荷時設定に戻す事ができます。

※ WAN ポートに BBIQ 回線終端装置が接続されていると、初期化後、自動的に設定されることがありますので、確実に初期化しようとする時は WAN ポートにはなにも接続しないで下さい。

第3章 電話の使用

3.1 電話機能

3.1.1 電話をかける(発信)

- ① 電話機の受話器を取り上げます。BBIQ 光電話ターミナルの「電話」ランプが(緑)点灯します。
- ② 相手先電話番号を押します。
- ③ 相手が出たら話します。

3.1.2 電話がかかってきたとき(着信)

- ① 電話機から着信音がなります。BBIQ 光電話ターミナルの「電話」ランプが(緑)点滅します。
- ② 受話器を取って話します。BBIQ 光電話ターミナルの「電話」ランプが(緑)点灯します。

3.2 音の一覧

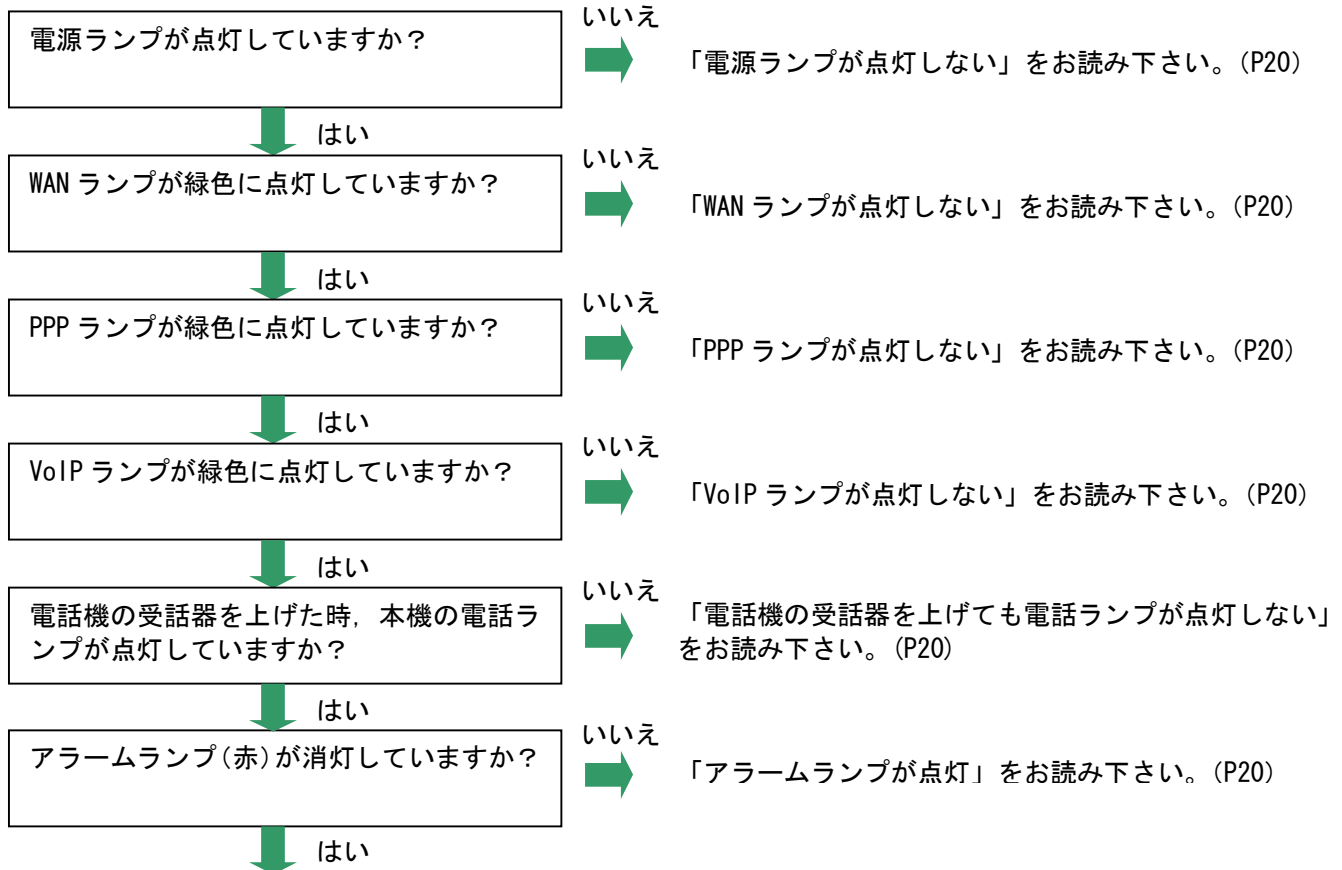
音の種類	音になる条件
発信音	受話器をあげると、ツーと言う連続音が聞こえます。この音になっている時に相手先電話番号を押すと音が止まります。
呼出音	相手を呼び出している間は受話器からトゥルルル、と聞こえます。この時は相手を呼出中です。相手が出ると音が止まり通話できます。
話中音	相手先電話番号を押した時に相手がお話し中だとツー、ツーと受話器から聞こえます。一度受話器を電話機に置いて、再度かけ直して下さい。
保留中表示音	通話中に相手に割込通話サービスなどの通信中着信機能で保留されると保留中を示す音(トゥルルル、ツーなど通話先の通信事業者に依存します)が聞こえます。
着信音	電話がかかってくると、着信音がなります。この時に受話器をあげるとお話しができます。着信音は電話機に依存します。
通話中着信通知音 (割込通話サービス 利用時のみ)	通話中に電話がかかってくると、受話器からツツ・・・ツツ・・・と聞こえます。この時にフックボタンを押すと割込通話サービスとなります。割込通話サービスのご利用については、別途お申込みが必要です。
ハウラ音	通話していない状態で受話器をあげたままにしておくと、ツーと言う連続音が大きくなりながら聞こえます。この音は受話器をあげたままの状態になっている事を通知する警告音です。受話器を置けば止まります。
準正常エラー音	相手先電話番号を押した時にツツ・ツツ・という音が聞こえた場合、相手側やネットワークの一時的な不調が原因です。一度受話器を置いて、再度かけ直して下さい。
異常エラー音	BBIQ 光電話で電話がかかけられない状態で受話器をあげると、高い音でピピ・・・ピピ・・・と聞こえます。この音が聞こえた時は【第4章故障かなと思ったら】をご覧ください。

第4章 故障かなと思ったら

トラブルが発生した場合には、以下の点を確認して障害箇所を明確にしてから、本章をお読み下さい。

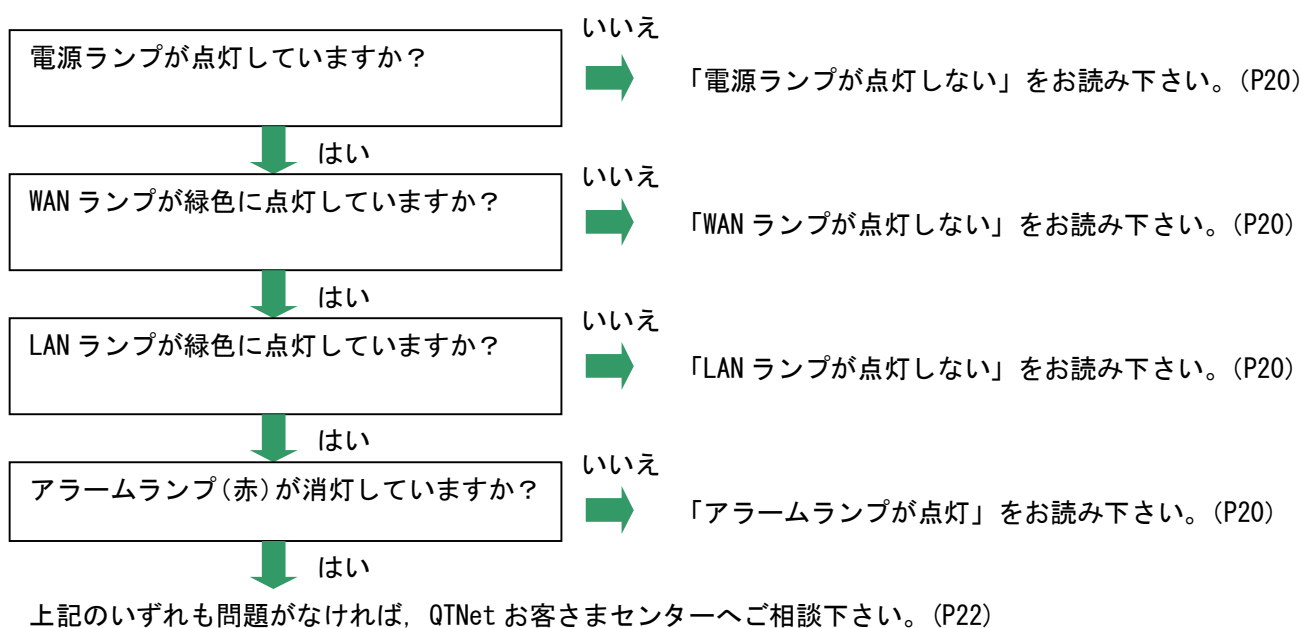
- ・ 本体前面にあるランプの点灯状態を確認して下さい。(以下の確認手順を参照して下さい。)
- ・ インターネットへ接続されている場合、BBIQ ポータルサイト (www.bbiqu.jp) へ接続できる事を確認して下さい。
- ・ 電話機やファクスが使用できる事を確認して下さい。

電話が使用できないとき



上記のいずれも問題がなければ、QNet お客様センターへご相談下さい。(P22)

データ通信（インターネット）が使用できないとき



現象	以下の内容を確認して下さい
電源ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源アダプタが本機に正しく接続されている事を確認して下さい。 ・電源アダプタがコンセントに正しく接続されている事を確認して下さい。 ・本機添付の電源アダプタを使用している事を確認して下さい。 ・コンセントに電燈など別の器具を接続し、電気が来ていることを確認して下さい。 ・上記いずれも問題がなければ、QNet お客様センターへご相談下さい。
WAN ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・BBIQ 回線終端装置と本機の WAN ポートが LAN ケーブルで正しく接続されている事を確認して下さい。 ・BBIQ 回線終端装置に電源が供給されている事を確認して下さい。 ・上記いずれも問題がなければ、QNet お客様センターへご相談下さい。
PPP ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・設定更新ランプが「橙色」で点灯している場合は、前面の設定ボタンを3秒以上押下してしばらくお待ち下さい。 ・設定更新ランプが消灯している場合で、PPP ランプが消灯している場合は、QNet お客様センターへご相談下さい。
VoIP ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・QNet お客様センターへご相談下さい。
電話機の受話器を上げてても電話ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・電話機が本機に正しく接続されている事を確認して下さい。 ・電話機の電源が入っている事を確認して下さい。
アラームランプ（赤）が点灯	<ul style="list-style-type: none"> ・QNet お客様センターへご相談下さい。
設定更新ランプが（赤）点滅	<ul style="list-style-type: none"> ・QNet お客様センターへご相談下さい。
LAN ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・LAN ケーブルが本機の LAN ポートと正しく接続されている事を確認して下さい。 ・LAN ケーブルが、お客様のパソコンやブロードバンドルータなどと正しく接続されている事を確認して下さい。 ・パソコンと本機を直結する LAN ケーブルは、ストレートケーブルをお使い下さい。 ・パソコンなどの電源が入っている事、パソコンなどの設定が正しい事を確認して下さい。 ・上記いずれも問題がなければ、QNet お客様センターへご相談下さい。
電話機の受話器から一切音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ・電話機が本機に正しく接続されている事を確認して下さい。 ・電話機の電源が入っている事を確認して下さい。
電話機からダイヤルしてもダイヤル音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ・電話機が本機に正しく接続されている事を確認して下さい。 ・電話機のダイヤル種別を「プッシュ (PB)」, または「ダイヤルパルス (20PPS)」に設定して下さい。
ダイヤルしている最中に受話器から聞きなれない音が聞こえる。 (ププッ、ププッ・・・)	<ul style="list-style-type: none"> ・一旦受話器を置き、相手先電話番号をお確かめのうえ、再度ダイヤルして下さい。
ダイヤルしたが、「現在、使われておりません・・・」というメッセージが聞こえる	<ul style="list-style-type: none"> ・一旦受話器を置き、相手先電話番号をお確かめのうえ、再度ダイヤルして下さい。 ・電話機の ACR 機能を OFF にして下さい。

問題が解決しない場合は、QNet お客様センターへご相談ください。(P22)

第5章 仕様

ハードウェア仕様

環境条件		
電源	AC 100 [V] (50/60Hz)	ACアダプタでDC12V変換
寸法	約 38×140×162 [mm]	本体寸法 (設置台含む)
質量	約 300 [g]	設置台含む
環境条件	動作時	温度：0～+40°C (結露なき事) 湿度：5～85%RH (結露なき事)
	保存時	温度：-10～+50°C (結露なき事) 湿度：5～90%RH (結露なき事)
インタフェース		
局側インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX×1	10M/100M 自動切り換え, MDI/MDI-X 自動認識
端末側インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX×1	10M/100M 自動切り換え, MDI/MDI-X 自動認識
	アナログポート×1	PB, 20pps, リバース機能
その他仕様		
ランプ	電源, VoIP, PPP, WAN, LAN, 電話	緑
	アラーム	赤
	設定更新	緑/橙 2色
スイッチ	設定ボタン	前面
	初期化スイッチ	背面
消費電力	約 9 W	

ソフトウェア仕様

IP系仕様	
局側接続プロトコル	PPPoE
その他のIP機能	IPv4
QoS	CoS, TOS, Voiceトラフィック優先転送
Voice系仕様	
呼制御プロトコル	SIP (RFC3261)
コーデック	G.711
エコーキャンセラ	G.168
ファクス対応	みなし音声方式 (G.711)
DTMF	みなし音声方式 (G.711)
電話サービス	各種電話サービスの提供につきましては、QNet お客様センターへお問合せ下さい。
フッキング検出時間	1.2秒 (割込通話サービス時)
保守・運用・設定	
自動設定機能	設定ボタン押下による、ソフトウェアおよびBBIQ光電話設定情報の自動取得

第6章 サービスや故障などのお問合せ窓口（QNet お客様センター）

■ BBIQ 光電話開通前の工事に関するお問合せ

 **0120-98-8686**（通話料無料）


受付時間/9時～20時 年中無休 番号はお間違いないようご注意ください

■ インターネット接続/設定や 光電話開通後の障害に関するお問合せ

 **0120-86-8327**（通話料無料）

受付時間/9時～21時 年中無休 番号はお間違いないようご注意ください

■ 障害情報ダイヤル専用電話番号

 **0120-92-5724**（通話料無料）

受付時間/24時間 年中無休 番号はお間違いないようご注意ください

障害情報(又は復旧情報)の自動音声案内が流れます。
携帯電話、公衆電話からでもご利用いただけます。

また、工事障害情報は、携帯電話によるインターネット接続でもご覧いただけます。
下記の URL を携帯電話に入力してご利用ください。

【携帯電話向け障害情報ホームページ】 <http://kouji.bbiq.jp/m/>

■ BBIQ 光電話夜間故障受付

 **0120-98-3113**（通話料無料）

受付時間/21時～9時 年中無休 番号はお間違いないようご注意ください

BBIQ光電話ターミナル iA101SC3 取扱説明書
T101-1078-05

発行日 2008年8月 第5版
発行責任 富士通株式会社

©2006, 2007, 2008 FUJITSU LIMITED

- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、当社はその責任を負いません。
- 落丁、乱丁本はお取替えいたします。
- 無断転載を禁止します。
- 本記載内容については、予告なく変更する事があります。